

ロータリー 会員セミナー

MISSION: POSSIBLE

私たちにできること…

2022



国際ロータリー第2地域ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則



おはよう ロータリーのみなさん

今日は、ロータリーの会員セミナーにご参加くださり、ありがとうございます

いま、世界が加速しながら目まぐるしく変わりつつあるのに同調して、ロータリーは大きく変わりつつある

しかしながら、自分には関係のないことだ・・・と決め込んでいるロータリアンが大勢いることも現実となっている

何か頼まれても、できない・・・やりたくない・・・と尻込みするロータリアンがとても多いことも実感しているに違いない

だがロータリーには社会や君を変えることができる潜在的なパワーがあることを理解してほしいと考えている

そこで君の使命だが、ロータリーのムーブメントを正確に受け止め、自分に「できること」に精一杯取り組むことにある

例によって、君もしくは君のメンバーがとらえられ、あるいは殺されても、当局は一切関知しないからそのつもりで・・・

成功を祈る

なお、このテキストは自動的に消滅しないので、時間のある時に参考に見てください

just like from TV drama-MISSION:IMPOSSIBLE (1967-1973)

1 ロータリーメンバーになったら できること・・・

2 ロータリーのために できること・・・

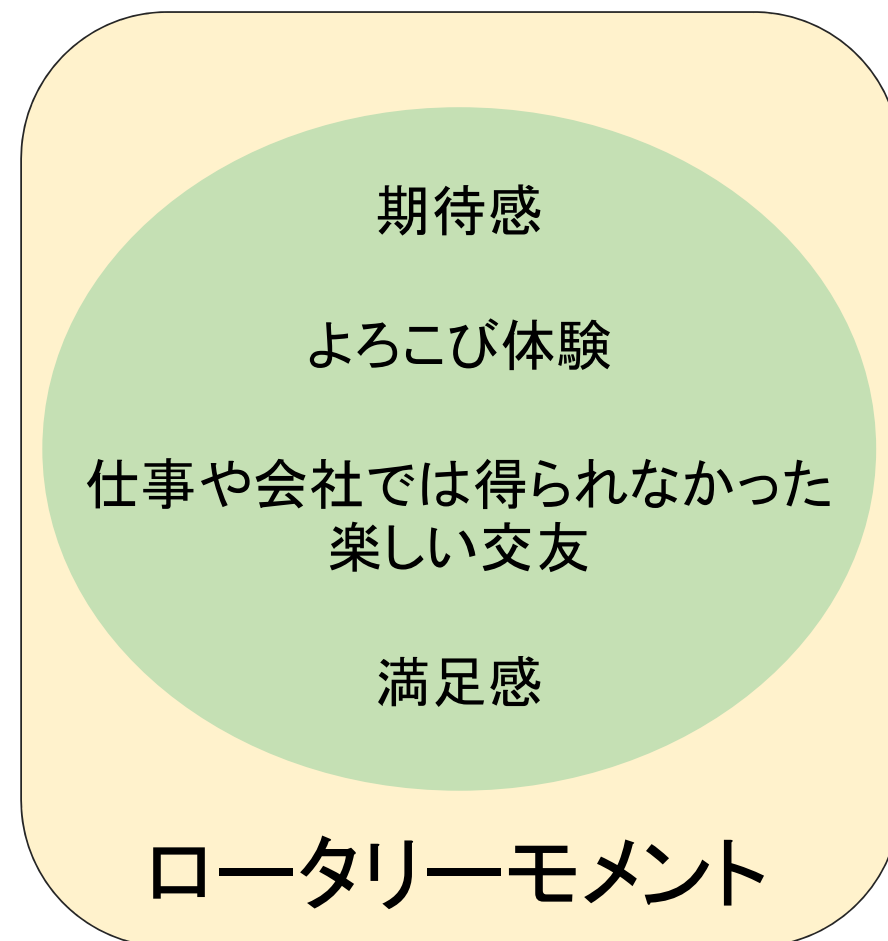
3 地域や世界のために できること・・・

ロータリーメンバーの権利

	権利事項(義務だと思わないでください)	自分のため	クラブのため	社会のため
1	例会に出席(欠席の場合はメイクアップ) バッジの着用・卓話担当・会場監督・フェローシップ	○	○	
2	クラブ委員会へ所属および委員会活動へ積極的参加	○	○	
3	地区委員会へ出席	○	○	
4	学びの機会へ参加 クラブ内研修 グループ内研修(IMなど) 地区研修 全国研修	○	○	
5	地区大会、地区研修・協議会など地区行事へ参加	○	○	
6	新会員の推薦・スポンサー 特に若い人や女性の増強		○	
7	役員・指導者を務める クラブ会長・幹事 地区ガバナー・地区幹事 研修リーダーなど	○	○	
8	五大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)プロジェクトの実践	○	○	○
9	「ロータリーの友」の購読またはweb siteで閲覧 http://www.rotary-no-tomo.jp	○	○	
10	「クラブ会報」・「ガバナー月信」の購読またはweb siteで閲覧	○	○	
11	国際ロータリーHPの閲覧 http://www.rotary.org/ クラブHP・地区HP・その他関連HP多数	○	○	
12	My ROTARYに登録 web siteから国際大会へ登録およびR財団へ寄付が可能	○	○	
13	入会金、会費を納付 ニコニコBOXに協力		○	
14	ロータリークレジットカード=ダイナース・オリコ 使用するとポリオプラスに自動的に寄付		○	○
15	国際ロータリーのロータリー財団へ寄付(免税優遇措置あり)		○	○
16	ロータリー米山記念奨学会へ寄付(免税優遇措置あり)		○	○

ロータリーの魅力

	魅力項目	比率 %	自分のため	クラブのため	社会のため
1	異業種交流ができる	70.7	○		
2	生涯の友人・仲間ができる	70.0	○		
3	自己研鑽と学習・成長の機会	55.1	○		
4	例会が楽しい	52.3	○	○	
5	奉仕活動ができる	40.0		○	○
6	心からの親睦が得られる	37.5	○		
7	奉仕の理念を信奉している	23.9		○	○
8	ビジネスに活用できる	17.4	○		
9	世界の仲間とつながっている	13.5	○		
10	リーダーシップを発揮できる	9.3	○	○	
11	世界的問題の解決に貢献できる	8.0		○	○
12	寄付が有効活用できる	6.9		○	○



出典は日本のロータリー100周年実行委員会によるアンケート結果：2017年11月号

極意1

休まず例会に出席しよう

ロータリーを楽しむための第一歩です

掟…ロータリアンの権利(スペシャルチケット)を無駄にしない!

極意2

親しい友達を増やそう

仲間意識やロータリー観を共有します

掟…♪笑顔笑顔で語り合おうよ 心心で結び合おうよ♪

極意3

ポジティブな姿勢で取り組もう

“その気”が自分の成長のチャンスです

掟…返事は、「ハイ」か、「イエス」か、「よろこんで」!

極意4

家族にロータリーを伝えよう

ロータリーの原動力は友情と家族です

掟…家族も共に、ロータリーの親睦・奉仕に加わろう!

極意5

ロータリーモメントを語ろう

ロータリーの魅力を広げよう

掟…会社で、地域で、ロータリーでの感動体験を話そう!

ロータリーのMISSION



■ロータリーの使命 (MISSION OF ROTARY INTERNATIONAL)・・・ロータリー章典26.010.1

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです

■ロータリー財団の使命 (MISSION OF THE ROTARY FOUNDATION)・・・ロータリー財団章典1.030

国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである

■ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)・・・国際ロータリー定款第4条(2013に旧ロータリーの綱領→定款、和訳変更)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；

■ロータリークラブの目的 (PURPOSE OF A ROTARY CLUB)・・・標準ロータリークラブ定款第3条

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである

ロータリーの奉仕部門

■五大奉仕(FIVE AVENUE OF SERVICE)……標準ロータリークラブ定款第6条(2010年)

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実地的な規準である。

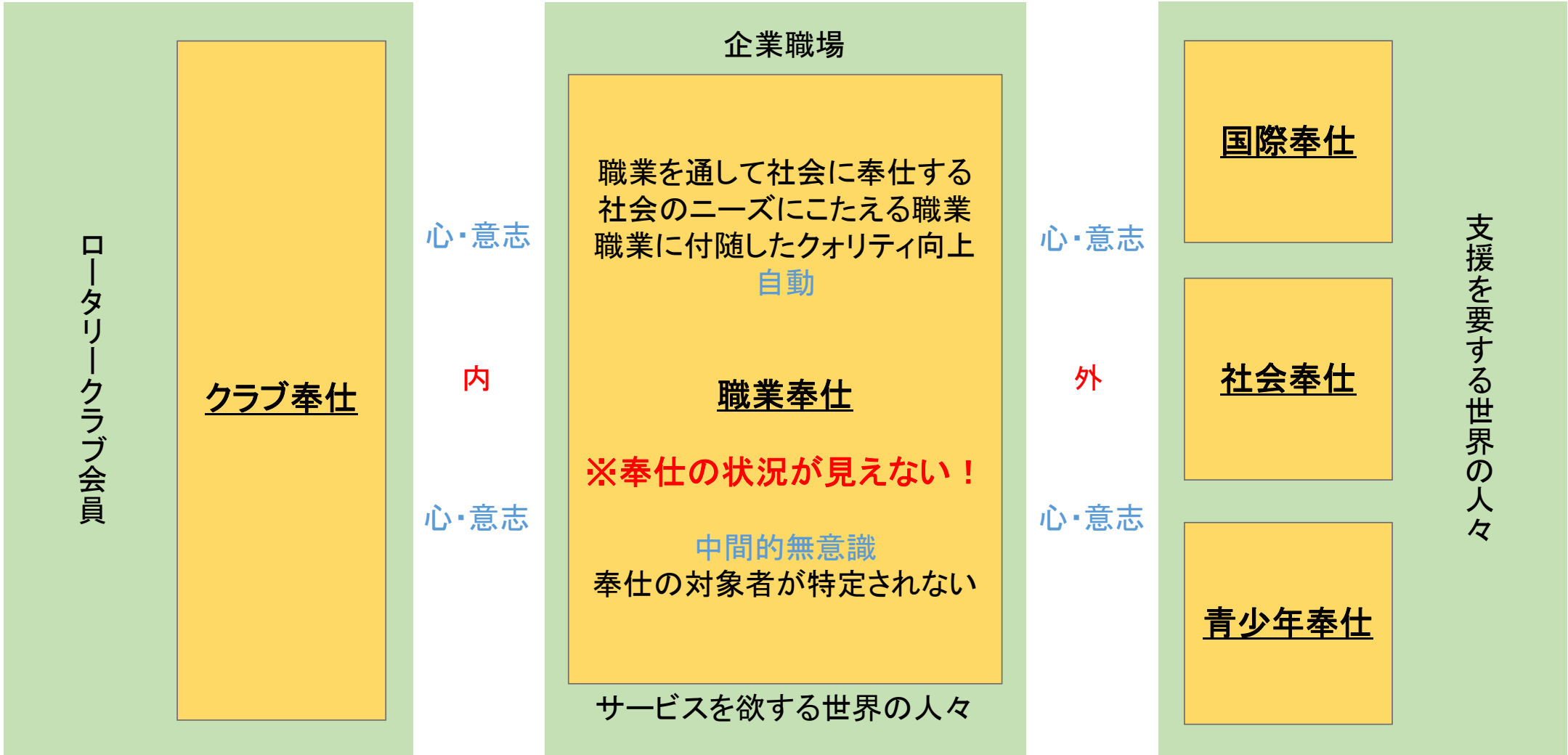
- 1 奉仕の第一部門である**クラブ奉仕**は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
- 2 奉仕の第二部門である**職業奉仕**は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。
会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
- 3 奉仕の第三部門である**社会奉仕**は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
- 4 奉仕の第四部門である**国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
- 5 奉仕の第五部門である**青少年奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

ロータリーの奉仕の歩み

1905年	2月23日(木) ガスターバス・ローアの事務所にてロータリーが誕生。
1906年	シカゴRC ドナルド・カーターの指摘 物質的相互扶助によって利益を上げるのはうれしいだろうが、職業人として 地域の利益 になるようなことをしなければ、ロータリーは永続性を持つことができない→ポール・ハリスは組織の存在意義を見直し。
1907年	シカゴRC ポール・ハリス会長 無料公衆便所設置=ロータリー初の奉仕プロジェクト(完成は1909年)。親睦と物質的相互扶助を期待して入会してくる会員との間の軋轢。
1910年	全米ロータリークラブ連合会結成第1回年次大会(16クラブ) ポール・ハリスは、 奉仕理念の拡大を図る場としての連合会 を設立し、混乱回避。綱領制定。相互扶助の慣習から脱却し、職業倫理を高める。
1911年	全米ロータリークラブ連合会第2回年次大会。ロータリーの標語=He profits most who serves best(最もよく奉仕する者、最も多く報われる)を採決。
1917年	アトランタ大会。アーチ・クランフ基金(ロータリー財団のはじまり)。
1918年	エリリアRC エドガー・アレンの提案 「全米身体障がい者協会」を率いて入会し、ロータリーに協力依頼。 個人奉仕と団体としての社会奉仕 の対立。ロータリー史上最大の論争。
1921年	ロータリーのスローガン=Service above self(超我の奉仕)採択。
1922年	ロサンゼルス大会。ロータリーの綱領・定款・細則の改定。国際的平和増進が綱領に加えられた(国際奉仕)。
1925年	セントルイス大会。RI理事会にて 決議23-34(社会奉仕) 。RIとクラブとロータリアンの機能を明確化してロータリーの諸活動に関する根源的な指針。
1927年	オステンド大会。 四大奉仕部門 の設定。職業奉仕(正式名称化)・国際奉仕・社会奉仕・クラブ奉仕。
2010年	新世代奉仕が加わり、 五大奉仕部門 の設定。(2013年に青少年奉仕部門に改称)

出典はロータリー一年表他多数

ロータリーの奉仕の特性



■クラブ例会の意義

例会に出席することによって自然に**奉仕の精神を学んでいく**ことができるようにすることが、本来の意義です
 例会の進行スタイルはクラブごとに異なっています→例会はクラブの個性
 Kite・・・Kutte・・・Kaeru 3K例会にならないようにしましょう

■会員増強はクラブ奉仕

クラブで取組みたい奉仕に必要な人材の勧誘・・・共に地域のために奉仕をしませんか 単なる数字合わせではない
 小規模クラブの超高齢化も不安要素です→限界クラブ化 突然の若返りは困難です

■ガバナーを出そう・・・ガバナー候補者を育てておこう

ガバナーやガバナー補佐に求められる能力は、社会的地位や時間や金銭ではなく、**人間としての魅力、情報収集力、アイディア力、プレゼンテーション力、デジタル力、フットワーク(行動力)等の組織リーダーとしてのパワー**です
 クラブ会長経験が必須なので、若い時期にクラブ会長やガバナー補佐になるのが良いと思います→金の卵作戦!

親睦	<p>FELLOWSHIPが原語で、本来は友情・友愛ということです 『例会に集い、例会の場で職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動を「親睦」と呼ぶ。例会で高められた奉仕の心をもって、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践する』というのが、初期ロータリーがイメージした理想的なロータリーライフです</p>
奉仕	<p>SERVICEがなければロータリーではない 奉仕の心を培うためには、例会に出席することが有意義である 出席義務はここからの発想です 有意義な奉仕に取り組むためには、常に問題意識をもって社会に目配りしていくことが必要である 奉仕は強制されて行うものでもないし、RIからの補助金をあてにして行うものでもない</p>

職業奉仕の背景

■アーサー・F・シェルドン:ロータリーの奉仕理念の提唱者(1868年～1935年)

1908年	シカゴRCに入会
1911年	He profits most who serves best がロータリーの標語として採択される →20世紀のビジネスの成功は他人と利益をシェアするというサービス(奉仕)の考え方=職業奉仕へ
1915年	ロータリー倫理訓(道德律)
1921年	ロータリー哲学(奉仕哲学は原因によって結果が証明できる科学→「奉仕」と「自我」と「利益」の関係)



■職業奉仕理念の誕生事情・・・当時のシカゴの状況を見ると、“職業倫理のススメ”といったほうが正確かもしれない

シカゴは、アメリカ五大湖のひとつミシガン湖に面する都市で、17世紀中頃から内陸交通の要衝として発展してきた。1871年の大火、1873年に始まった大不況から回復し、1893年のシカゴ万博を経て人口は急増し、1900年にはアメリカ第二の大都市(170万人)となっていた。

1905年にロータリーが誕生したものの、シカゴは華やかさの陰にむしろ多くの問題を抱えていた。富裕層が支える経済発展・都市成長の陰で、貧富の差が拡大し、街がスラム化したり、南北戦争後に流入してきたアフリカ系移民に対する人種差別や暴動も起きた。

社会の信頼関係がなくなり、政治の墮落から、やがて裏社会を支配するギャング(アル・カポネ他)が横行する罪悪と腐敗の暗黒時代につながっていく。※当時のシカゴの状況について、映画「The Untouchable」、「The Sting」が参考になると思います

社会経済面においては、私利私欲をむさぼったり、違法商品(密造酒など)の製造販売、カナダから密輸といった著しい職業倫理の低下や無法状態があったので、ロータリーの品位や正義を保つために、「職業が社会生活のための奉仕になる」、「職業人として襟を正す」というコンプライアンス的な宣言とコンセンサスが必要だったのではないかと考えられる。

職業奉仕の発想は、職業人としてのプライドや正義感を自覚することによってロータリー自体のステイタスを向上させる仕掛けだったのかもしれない。無秩序で暗黒な時代背景が生み出した発想だったと理解することもできる。

出典はロータリー一年表他多数

個人奉仕と団体奉仕

■ 職業奉仕

自己利潤追求である職業と利他である奉仕の合一化
素朴で紳士的な利潤追求がイメージされていて、現代の
ような超人的な企業活動は想定されていなかった？



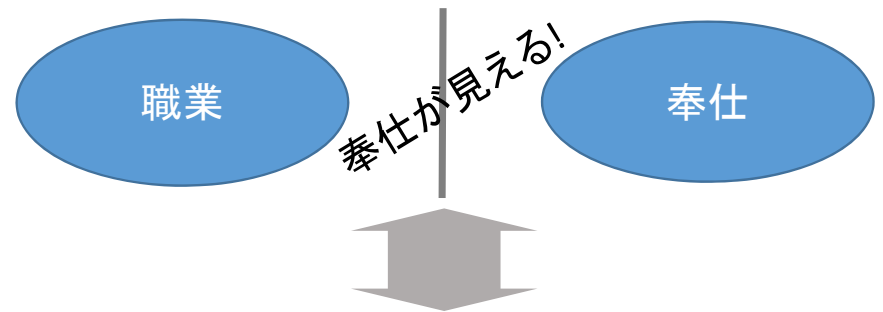
■ 個人奉仕スタイル SERVICE

ロータリーが想定する職業=社会貢献可能な職業を前提
職業活動の推進→自動的に社会貢献につながる
職業奉仕の理念はロータリーの独自性・金看板
ロータリーは倫理観をもって奉仕する個人(経営責任者)
の集まり組織
ロータリーの中にも団体奉仕活動はあるが、職業奉仕と
いうよりも社会奉仕と考えたほうが良い？

ロータリークラブ	I SERVE	I SERVE
		WE SERVE

■ 社会奉仕

自己利潤追求の職業と社会愛の奉仕は相いれない



■ 団体奉仕スタイル VOLUNTEER

社会に奉仕することは、企業活動とは別価値である
奉仕に特化した価値観 仕事が終わりに奉仕に出かける
集团的スケール感によって社会にインパクトを与える
奉仕が見えることにより、社会的認知を得られる

他団体	WE SERVE
-----	----------

■ つながる奉仕・・・ロータリーは社会とつながっているでしょうか？

ロータリーのことを周囲の人々に伝えていますか？

職業奉仕こそロータリーの看板なので大切だと思っている・・・という方は、自身の職業がどんな人たちにどんなふうに関与しているのか、社会に伝えていますか？

職業を一生懸命やっているだけでは、ロータリーの奉仕は伝わりにくいようです

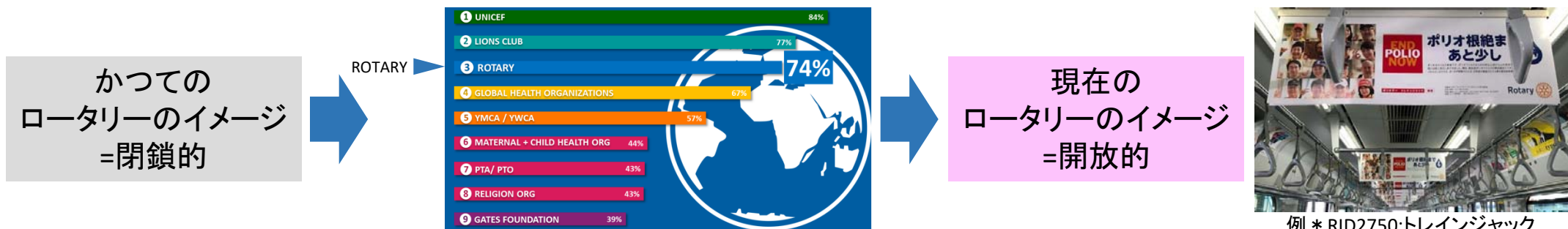
■ 伝える奉仕・・・だれに何を伝えたいのでしょうか？

ロータリーの理念や様々な活動を羅列しても、ロータリーの情熱や感動は伝わりません

ロータリーを伝えるには、社会とつながった奉仕活動を情報発信していくことが重要です(国際奉仕、青少年奉仕も可)
ブランドとしてのビジュアルをアピールすると共に、ロータリーの社会に向けたストーリーを語っていくことが求められます

■ 伝える手法・・・ストーリーテリング (STORY-TELLING)

RI戦略計画の優先事項にあるように、より大きなインパクトをもたらす・・・参加者の基盤を広げる・・・参加者の積極的な関わりをうながす・・・ような活動企画に基づき、初期段階からパートナーやマスコミと一体になって進めることも良い



ロータリーの利他の特性

	一般の利他	ロータリーの利他
精神風土	仏教 他力、布施、利他行、忘己利他(もうこりた)=最澄 キリスト教 隣人愛(マタイ福音書7章12節)	キリスト教 博愛(ゴールデンルール)
主義	対義的利他主義=オーギュスト・コント(フランス:社会学者・哲学者 19世紀初頭) 「利他主義」はコントの造語、利己主義の対義語、他人のために生きる 合理的利他主義=ジャック・アタリ(フランス:経済学者・思想家 1943~現在) 利他行為は利己行為につながっている 利他即自利	対義的利他主義 Service Above Self 救済支援、ほどこし 人道主義戦略 政治回避による平等主義 合理的利他主義 He Profits Most Who Serves Best 功利的利他主義 ビル&メリンダ財団とのタイアップ
動機	同情・共感・愛情・絆・情報・データ・社会問題(経済・環境・生存など) 社会貢献評価・メセナ・宣伝PR	ドナルド・カーター事件→社会奉仕 R財団設立=Doing Good In The World ロータリー米山奨学会設立
行動	寄付・募金・クラウドファンディング、労働提供、ボランティア、NGO、NPO	会員寄付行為(Donor)、現地活動、人材育成、平和センター
寄付土壌	アメリカ GDPに対して2.2% 36兆円(2008年データ) 日本 GDPに対して0.11% 6000億円	R財団寄付合計 4億860万ドル(2019-2020年度) R財団現金寄付累計 54億ドル(=5940億円) ロータリー米山奨学会財産計 104億円
他者	弱者、被災者、環境	辺境国、小国、経済ビハインド国、環境
結果	自己満足? めぐりめぐって?	チャリティナビゲイター、公共イメージ向上(ストーリーテリング)

■ポール・ハリスのことば

私たちの生きる目的は何でしょうか? 学ぶことです。何を学ぶために生きているのでしょうか? 学ばなければならない唯一のことは、どうすれば**自己にとらわれないようになる**かということです。私たちはそれを学ばなければなりません。学ばないわけにはいきません。自発的に学ぶことができなければ、強制されるでしょう。

※自己にとらわれる=自分勝手・自己中心・わがまま・私利私欲・自分(の会社)さえ良ければ他人のことは知らない

My ROTARYに今すぐ登録!



RIのHPメニュー

ロータリーとは	参加しよう	活動分野	プログラム	ニュース&特集記事	会員用
概要	概要	概要	概要	ニュース・特集記事	My ROTARY
ロータリーの歴史	ロータリーへの入会	平和の推進	青少年プログラム	ロータリーの雑誌	クラブと地区の運営
ロータリーのしくみ	ロータリークラブ	疾病との闘い	ロータリー青少年指導者養成プログラム	プレスセンター	ロータリークラブ・セントラル
ロータリー財団	インターアクトクラブ	水と衛生	平和フェロシップ	ブログ	会長賞
ロータリーのリーダー	ローターアクトクラブ	教育の支援	ロータリー地域社会共同体	ソーシャルメディア	クラブ検索
多様性・公平さ・開放性	プロジェクト	母子の健康	補助金	バーチャルリアリティ	会員コーナー
財務状況	ロータリーのパートナー	地域経済の発展	青少年交換	ここからログインすると下表に移ります 今すぐ登録を!!	ロータリー国際大会
ロータリーのパートナー		環境の保護	新世代交換	クラブの状況を入力してください	プロフィール
ロータリーの会員		災害支援	奨学金		ロータリー財団

RI及びR財団理事会記録があります

メディア向けのロータリー早わかりなど

My ROTARYメニュー

ホーム	アイデアを広げる	行動する	ラーニング&参考資料	運営する	ロータリー財団	ニュース&メディア	会員用
クラブ	フォーラム	ご寄付	役割別	クラブと地区の運営	ロータリー財団の歴史	RI会長	ロータリーへの入会
私の地区	イベント	ポリオ根絶	主題別	ROTARYマーケットプレイス	ご寄付	雑誌	新会員の推薦
	クラブでつながる	プロジェクトを立ち上げる	ロータリーについて	ブランドリソースセンター	補助金の申請	ニュースレター	再入会/移籍
ポリオデーイベント事例 補助金の申請		補助金の申請	方針と手続き	アイテム&サービス	ロータリー財団について	ロータリーボイス	国際大会
		才能ある人材を育てる	ラーニングセンター	旅行と経費	各種レポート	ニュース・記事	ロータリーグローバルリワード
		規定審議会状況がわかります	ウェビナー	地区補助金・グローバル補助金の申請		お知らせ	役立つツール
		行動計画(優先事項)があります				年間予定表	各種賞・表彰
		イベント検索・クラブ検索アプリ等をDLできます ロゴや国際協議会の写真などを取り出せます		会員数統計などがあります		メディアセンター	ご提供アイテム&サービス
		数多くの参考になるビデオなどがあります		世界の会員からの寄稿が参考になります 国際大会に登録できます		ブランドリソースセンター	ロータリーの雑誌
				ロータリアン向けの宿泊やショッピングなど割引情報があります		Rotary Video	リソース&参考資料




ロータリーショーケースがあります

組織規定文書・ロータリー章典・財団章典があります

自分のプロフィールを確認・修正できます

ロータリーの寄付とプログラム



寄付					プログラム			
内容	認証・表彰				種類	種類	内容	
ロータリーの寄付の柱で、財団の補助金とプログラムの資金源 3年後に使用できる 年次基金額÷会員数=PC	 RI第7代会長	 RI第1・2代会長	ポールハリス ソサエティ 毎年1000ドル	ポールハリス フェロー 累計1000ドル毎 マルチプル ポールハリス フェロー 8段階	年次基金	地区補助金	各クラブや地区の人道的、教育的、社会奉仕的な多種多様な奉仕プロジェクトに使用される DDFの50%以内で、地区が一括して財団に申請する	
世界からポリオなどを撲滅するという目標達成のための基金 (使途指定基金=寄付者の意思で使用目的を指定) 3500万ドル/年 を目標 ビル・ゲイツ財団の支援	アーチクラフ ソサエティ 累計25万ドル以上 レベル1~3	メジャードナー (大口寄付者) 累計1万ドル以上 レベル1~7		ポリオ・プラス (使途指定基金)	グローバル補助金	2カ国以上のクラブが、7つの重点分野に関するプロジェクトを協同提唱し実施する国際プロジェクトに使用される ロータリーのある国でのみ実施可 DDFに対しては、1:1、現金に対しては1/2の補助金(WF)が交付される 事業規模30000ドル以上が対象		
将来のプログラムのために、元金は使用せず、投資収益を使用する(現金・遺贈・慈善年金) 3年後に使用できる 2025年までに 2,025,000,000ドル を目標	レガシー ソサエティ 累計100万ドル以上		ベネファクター 1000ドル以上	恒久基金	平和センター (使途指定)	紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェロシップ(奨学金) ロータリー平和フェロー(将来、政府・民間機関・教育・報道機関などの職業分野において指導者となる可能性をもつ人)はロータリー平和センターで修士課程において学ぶ		
日本の大学等教育機関に在学する外国人留学生への奨学金の資金	米山功労者 メジャードナー 累計100万円以上	米山功労者 マルチプル 20~90万円	米山功労者 累計10万円	準米山功労者 累計3万円	普通寄付金 (クラブより定期)	米山記念奨学事業	日本のロータリーが協同で運営し、外国人留学生支援のために奨学金を支給する 国際理解と親善に寄与する目的 事業規模は13~15億円/年	
	米山特別 功労法人 累計100万円以上		米山功労法人 累計50万円	準米山功労法人 累計5万円	特別寄付金 (任意)			

2019～ ポリオ・プラス基金へ寄付→ポリオ根絶活動

■ポリオとは

「急性灰白髄炎」と言われ、日本では、「小児まひ」と言ったほうがわかりやすい人も多い。ポリオウィルスは、5歳未満の幼児たちに感染しやすい。このウィルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染。神経系を侵すこともあり、これによって手足をはじめとした身体まひを引き起こし、死に至るケースもある。治療法はないが、ジョナス・ソーク博士が開発した安全で効果的なワクチンにより予防が可能となった。

■日本のロータリーからはじまった活動→ロータリー史上最大の団体奉仕活動

RIにてポリオ・プラス計画がうまれた際に、その一環としての「インド麻疹免疫プロジェクト」派遣ボランティアとして、東京 麹町RCの山田彝(つね)・峰英二(医師)が選出され、南インドでプロジェクトの指導に奉仕した。活動報告を受け、クラブ創立15周年記念事業として「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」を提唱し、100万円を基金として拠出した(1982年)。この活動が基となり、RIによるポリオ撲滅活動(活動資金寄付と経口ワクチン投与)が展開されていくこととなった。

■ポリオ・プラスとは

ポリオのほか、麻疹、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核の予防接種を推進する計画。RIでは1985年より活動がスタートした。



山田彝(つね)



峰英二

■現状

ロータリーのパートナーとして、2007年からビル&メリンダ・ゲイツ財団から支援が行われている。2020年8月にWHOからアフリカにおける野生型ポリオの根絶が宣言され、一時的にアフガニスタンのみとなったが、2022年に至ってアフリカのマラウイで症例が見つかった。



出典は東京麹町RCホームページ他

ロータリーの寄付の仕組



ロータリー会員

寄付方法:個人寄付のケース

1.直接=個人で寄付する

ロータリー財団への寄付の場合

→RIホームページMy ROTARYから引落手続可能

→必ずクラブ事務局に連絡してください

米山記念奨学会への寄付の場合

→奨学会銀行口座に振込後、送金明細を送付

→企業法人での寄付も可

→必ずクラブ事務局に連絡してください

2.間接=クラブ経由で寄付する

・事務局に現金を納める

・クラブ銀行口座に振込手続

→必ずクラブ事務局に連絡してください

領収証:

クラブからの領収書は出ません

手元に届くまで日数がかかる

→1月末までにクラブ→本人に届く

確定申告時に優遇処置を受けられる

寄付(金額に応じた認証あり)

アーチ・クラフ(RI7代会長・ロータリーの基金設立を考案した)の提唱で始まった

ロータリー

人道的奉仕

米山梅吉(日本最初のロータリーの創立に貢献した)の功績を記念して始まった

寄付(金額に応じた表彰あり)

税制優遇あり

全世界の仕組

国際ロータリーの
ロータリー財団

ロータリー
米山記念奨学会

日本だけの仕組

奉仕活動

国際奉仕

EX.ポリオ根絶・海外での教育機会の拡充等

奉仕活動

地域社会奉仕

EX.地域の環境整備や人材育成支援活動等

奉仕活動

青少年育成

EX.次代を担う世代のリーダーシップ育成等

奉仕活動

留学生支援

EX.将来の国際平和に貢献する留学生支援

ロータリー財団からの各RCへの補助金は、ロータリー会員がロータリー財団に寄付した浄財を（一部ではあるが）自分たちの意思を反映して活用できるようにするための方法となっている→ロータリー財団シェアシステム。

■ 地区補助金

ロータリー財団、地区の選考基準に沿って、クラブの主体性・地域環境貢献・人材育成などのための事業が対象。各RCが新しい奉仕活動を模索展開するための支援となっているので、継続的な奉仕は対象とならない。

プロセス(前年度からの準備が必要となるので、注意を要する)

- ・地区補助金管理セミナー(前年度12月)・・・必須。クラブ会長エレクト・次期クラブ幹事・次期クラブロータリー財団委員長・(クラブ事務局)は出席。次期補助金申請の手続きの説明が行われる。
- ・MOU(Memory Of Understanding)の提出(前年度1月)・・・必須。各RCから地区へ提出する。
- ・地区補助金申請書の提出(前年度3月)・・・各RCから提出後、地区審査で補助金対象クラブ選考会が行われる。地区からロータリー財団へ補助金申請。
- ・地区補助金説明会(7月)・・・補助金の管理及び事業報告書の説明が行われる。その後、ロータリー財団から地区を通して各RCに補助金が入金される。
- ・事業実施
- ・事業報告書の提出(事業終了後2ヶ月～4月)・・・添付書類確認。領収書・実施状況写真・通帳写し・新聞等写し他。
- ・完了報告書の提出(4月)・・・地区から財団へ報告書を提出する。

■ グローバル補助金

ロータリー財団の重点分野に該当する人道的奉仕プロジェクトで、二国間で長期に渡り継続的に行われる持続可能な事業が対象。

プロセス

- ・My ROTARYの「補助金申請システム」から申請を行う。二国間関係者全員がMy ROTARYに登録済であることが必要。








ロータリーがいま取り組んでいること

内容項目

組織運営

- ・若年齢層・女性会員の加入促進(T-21参照)
 - ローターアクト**を青少年奉仕の対象からロータリーの一翼に加える
 - 2022年7月～人頭分担金の発生
 - 2022-2023RI会長は、初の**女性会長**=ジェニファー・ジョーンズ(カナダ) 女性会員の獲得
- ・DEIの推進(T-22参照)
- ・SRF(**ロータリーの未来形成**)の検討とモデル地区試行
 - 組織全体のガバナンスの見直しと構造改革

奉仕活動

- ・新たな奉仕分野(2020年6月)
 - 七つの重点分野(グローバル補助金の対象分野=補助金申請受付開始は2021年7月1日)
 - 平和構築と紛争予防
 - 疾病予防と治療
 - 水と衛生
 - 母子の健康
 - 基本的教育と識字率向上
 - 地域社会の経済発展
- 






- 環境(T-24・T-25・T-26・T-27参照)
 - ・人道的奉仕活動というスタンスの維持
 - ・アフリカ(47カ国)における**ポリオ**を根絶した(WHO=世界保健機構から2020.8.27発表)(T-15参照)
 - アフガニスタン・パキスタンにおける野生型ポリオウィルスの根絶が残されている

活動方法

- ・**オンライン**ミーティング(セミナー・委員会・地区大会・クラブ例会)の推進と定着

国際ロータリーの戦略ウェイブ



持続可能な組織 (INSIDE)

持続可能な活動 (OUTSIDE)

組織力維持増強

リーダーシップ

対外イメージ

奉仕活動

相互扶助・親睦

プライド奉仕

女性会員の増強

若年会員の増強

ローターアクトのRI加盟

MyROTARYの登録

例会などの柔軟化

職業分類制限廃止

寄付の維持強化

DEI 2019年～

中核的価値観

RLIを常設プログラム
2013年

地域リーダー

情報共有の迅速化

ラーニングセンター
RIホームページ

公共イメージ向上

ロゴマークの変更

アンケート調査

グローバル
広告キャンペーン
「世界を変える行動人」

デジタル化
ソーシャルネットワーク活用

チャリティナビゲイター

戦略計画 2011年

新戦略計画＝行動計画
2019年

TRF恒久基金目標設定

ビジョン声明 2017年

ロータリアンの行動規範
2019年改訂

ポリオ根絶

重点分野 2021年改訂

ポジティブ体質

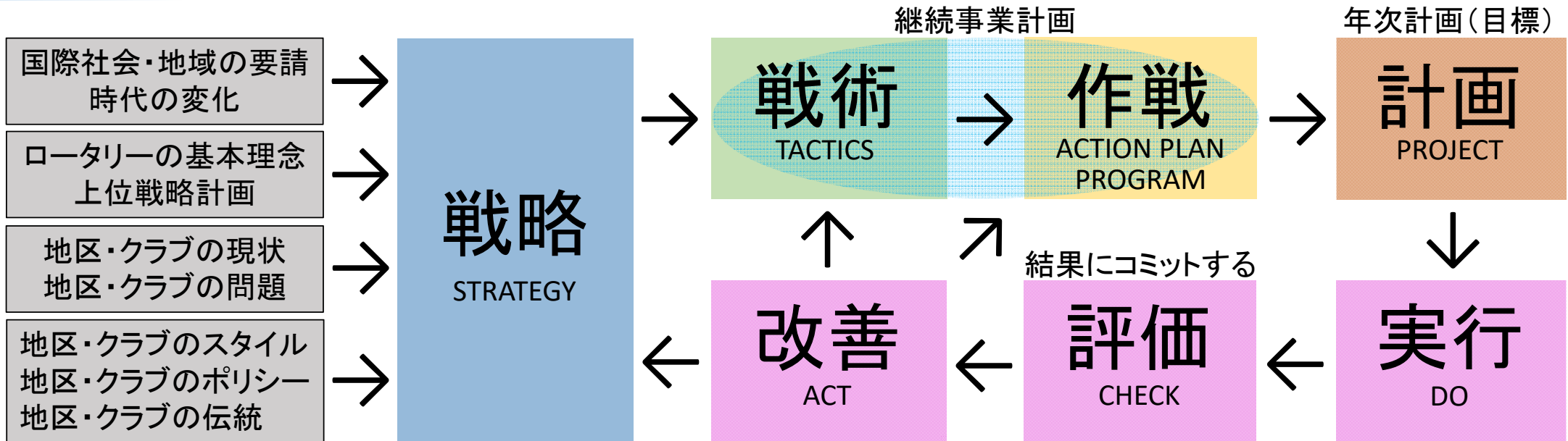
承認欲求

目標と現実のギャップ * 複雑化 * 多様化 * 高度化 → 要ガバナンス

ロータリーの未来形成2018年スタート～2020年公表

■ 戦略計画“STRATEGIC PLAN”って何？

- ・RIが提唱しているロータリーの未来に向けた活動指針のことである(この後、RIの戦略計画 を示す)
- ・RIは、「世界でよいことをしよう」というモットーに沿って様々な活動をしているが、具体的なことはローカルクラブに委ねられている
- ・RIはポリオ根絶のように奉仕の成果を集約することによって**社会に対して効果的にアピール**するということを指向している
- ・ロータリーの地域社会に向けた奉仕活動を通じて、ロータリーという組織の存在自体を知ってほしいと考えられている
- ・そのためには、RIの戦略だけでなく、**各クラブにおける戦略計画も必要**となる
- ・各クラブにおける毎年の人事に伴う活動方針の振幅をおさえて持続的に活動を積み重ねることによって、奉仕の成果が拡大する
- ・**3～5年後のクラブの姿**を描き掲げることによって、クラブメンバーが意識を共有することが大切である
- ・ロータリーの原点及びクラブの歴史やスタイルを守りながらも、未来に対する**希望や夢をビジュアル化**していきましょう



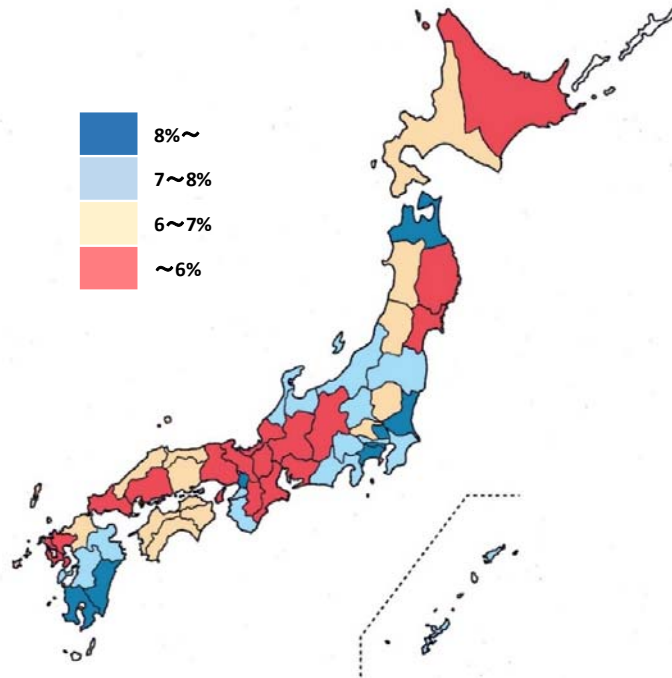
女性会員と若年齢会員の増強



ロータリー女性会員比率(日本・地区別)

地区	クラブ数	会員数	女性比率	男性比率
2750 東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ	97	4,609	11.76	88.13
2780 神奈川	67	2,313	11.63	88.33
2730 宮崎・鹿児島	68	2,392	9.57	90.05
2590 神奈川(横浜・川崎)	55	1,965	9.52	90.23
2830 青森	40	1,131	9.46	90.36
2660 大阪北部	80	3,596	8.43	91.49
2820 茨城	55	1,908	8.23	91.56
2770 埼玉南東	74	2,422	8.22	91.66
2790 千葉	82	2,743	7.87	91.98
2720 熊本・大分	75	2,413	7.71	92.04
2580 東京・沖縄	70	2,922	7.56	92.27
2620 静岡・山梨	77	2,898	7.42	92.44
2530 福島	63	2,282	7.41	91.94
2560 新潟	56	2,091	7.41	92.01
2640 大阪南部・和歌山	67	1,712	7.36	92.52
2610 石川・富山	64	2,578	7.33	92.36
2840 群馬	45	2,106	7.31	92.40
2510 北海道西部	70	2,513	6.84	92.80
2690 鳥取・島根・岡山	65	2,993	6.45	93.45
2670 愛媛・香川・徳島・高知	74	2,961	6.42	93.35
2570 埼玉西北	50	1,594	6.40	93.41
2550 栃木	48	1,714	6.36	93.35
2800 山形	49	1,555	6.30	93.12
2700 福岡・対馬・豊後・鳥栖	61	3,145	6.26	93.64
2540 秋田	42	1,152	6.16	92.97
2520 岩手・宮城	77	2,210	5.97	93.53
2650 福井・滋賀・京都・奈良	96	4,467	5.69	94.11
2760 愛知	84	4,792	5.63	94.30
2630 岐阜・三重	74	3,122	5.61	94.17
2710 広島・山口	73	3,236	5.50	94.22
2600 長野	54	1,961	5.41	94.39
2500 北海道東部	67	2,245	4.63	95.10
2680 兵庫	71	2,671	4.61	95.25
2740 佐賀・長崎	56	2,162	4.44	95.42
合計	2,246	86,674	7.08	92.69

2021年3月15日RIデータ



※日本のロータリーにおける女性会員

日本は世界で3番目にロータリー会員総数が多い国ですが、女性会員比率においては7.08%となっており、世界では下位から3番目になっています。最も女性会員が少ないのはモナコ(人口約36,000人)で、ロータリー会員はすべて男性です。次のマン島はイギリスの小さな島国(人口約86,000人)で、イギリス王室領です。日本は実質的に最下位と言ってもよいような状態にあります。

ジェネレーションの特性→ギャップ感

沈黙の世代 1925-1944年生 (96-77歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展に伴う近代化が進化した ・人々が同じ方向を向いて歩んでいた ・集団が持つ連帯感や居心地の良さのなかで、それぞれが己の欲望を満たしていった ・ロータリーは、そのハイクラスイメージや閉鎖性が、上昇発展志向だった世の経営者たちの目には魅力的に映ったのではないかと ・入会目的の基盤に人脈形成があった
ブーマー世代 1945-1964年生 (76-57歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争が終結し、平和に伴って民主化が進行し、生活や景気の堅実な右肩上がりの活力や競争に満ちた社会となり、GNPも大幅に向上して中流意識を持つに至った ・企業経営者は、ロータリーのステータスとビジネスチャンスの拡大に期待してロータリーに入会し、急激に会員もクラブも増えた ・社会を良くすれば、自分も良くなるということを実体験している
X世代 1965-1980年生 (56-41歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・通信系分野でのイノベーションにより、情報化や国際化が進んでボーダーレスになった ・世界規模のビジネスの成立により、経済や技術もオープン化されたが、一方で富の格差が起きた ・経済危機や環境汚染などの社会問題をきっかけに、個人の個性やゆとりに着目する時代になっていく
ミレニアル世代 (Y世代) 1981-1996年生 (40-25歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に属するよりも自分の居心地(人間関係)が良いことのほうが大切である ・非婚化・少子化が進んでいる ・終身雇用や年功序列システムが崩れ、他人のために時間や金銭を使う団体組織に入社したくないと考える人もでてくる ・青年会議所やローターアクトも低調 ・ロータリーに入会したい人が、かつてと同じモチベーションであるかはわからない

■ DEIの行動規範 2022年2月～ ※DIVERSITY=多様性 EQUITY=公平さ INCLUSION=インクルージョン(包括)

DEIの行動規範はロータリー会員に以下のことを求めています：

- ・他者を尊重する言葉を使う
- ・サポートを示す
- ・温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する
- ・多様性を重んじる

表現の自由は大切ですが、私たちの言動には重大な責任が伴います。ロータリーは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認に基づくバイアス(偏った考え方)、差別、偏見、ヘイト(憎悪)を促進する言動をロータリーが容認しないという共通の立場を取ります。クラブ会長、ガバナー、理事と管理委員など、ロータリーのすべてのリーダーには、自らの言動がほかの人に及ぼす影響について責任をもち、DEIの行動規範を一貫して適用することが求められます。

DEIの行動規範に沿わない言動を見たり聞いたりした場合には、以下の方法で対応することができます：

- ・話し合いで状況を解決できる場合には、当事者と直接対話することを会員／参加者に促しましょう。多くの場合、ほかの人が疎外感や、無視された、または標的にされたと感じるような言動は、意図的に行われるわけではありません。間違いや過ち、または不快に感じることもあるかもしれませんが、対話によって結果的にロータリーをよりよく、より強固にすることができます。
- ・話し合いが不可能な場合、あるいは当事者が重要な役職やほかのクラブの人である場合には、[RIクラブ・地区支援担当部](#)にご連絡ください。担当職員が情報を確認し、適切なフォローアップを行います。
- ・誰かが危険にさらされたり、身の安全が脅かされたりしていると感じる場合は、警察に通報し、[RIクラブ・地区支援担当部](#)にご連絡ください。

■ クラブで多様性、公平さ、インクルージョンを推進する方法

- ・多様性、公平さ、インクルージョンに詳しい地元の専門家を例会に招き、卓話をしてもらおう。DEIの取り組みを支援する団体とつながり、プロジェクトやイベントを共同で行う。
- ・役割を任命する際には新しい人を起用し、こうした役職に含まれることの少ない人(若い人、会員歴の短い人、学友など)にリーダー職を勧める。
- ・多様性、公平さ、インクルージョンについて対話をする。このような対話は気まずさや個人的な事柄を伴う場合があることを認めた上で、皆が学び、互いに耳を傾け、尊重する姿勢を身につける機会になるという共通の理解を築く。
- ・クラブにDEI委員会を設置し、委員を選任する際には地域社会を反映させることを念頭に入れる。委員会は、地元市民とともに、学び、分かち合い、奉仕できる機会を特定する。

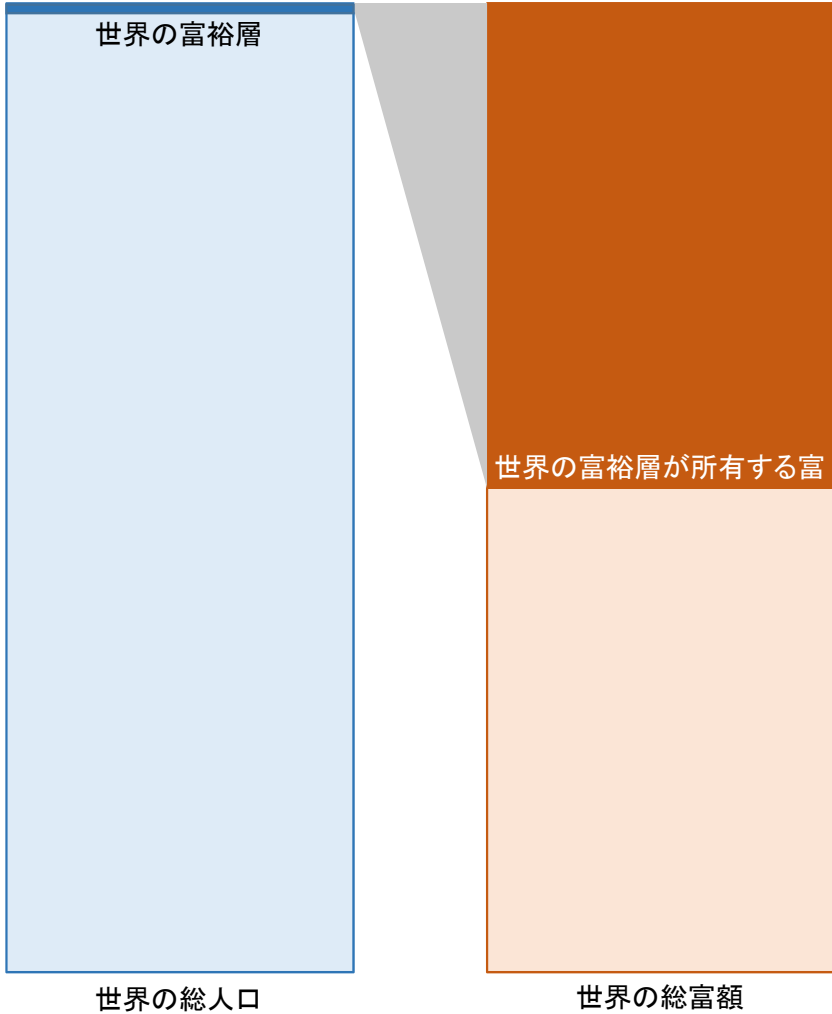
出典はRIホームページ

ロータリー財団の重点分野

■7つの重点分野・・・日本ではわかりにくいですが、世界では厳しい事態が続いている。特別月間テーマに組み込み。

1	平和構築と紛争予防	紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人は世界で7000万人。半数は子ども。
2	疾病予防と治療	仮設クリニック、献血センター、研修施設をつくり、医師・患者・政府間のインフラの設計も支援。マラリア、HIV／エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど予防・治療。無料定期健康診断や眼科・歯科検診も実施。
3	水と衛生	井戸掘に加えて安全な水と衛生設備を提供し、衛生教育も行うことで生活を改善し、子どもの通学率を高める。 WASHプロジェクト:2013年から、100カ国余りで浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援している。
4	母子の健康	5歳未満で死亡する子どもは世界で推定590万人。栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如などが原因。出産で命を落とす母親がなくなり、子どもがすくすくと成長できるように支援活動を行う。
5	基本的教育と識字率向上	読み書きのできない15歳以上の人は世界で約7億7500万人(全世界の成人の17%)。学校に通っていない子どもは世界に6700万人。地域社会が学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援する。
6	地域社会の経済発展	1ドル90セント(約220円)で一日暮らしている人は世界で約8億人。貧困に持続的な解決策をもたらすために活動。
7	環境 (2020年～)	国連による持続可能な開発のための2030アジェンダなどを受け、温暖化防止や緑化推進などによって、環境の悪化防止と改善を進める。 日本においても身近な課題。

■世界の富の配分イメージ



■世界の富裕層ランキング Forbs2022年4月発表

順位	氏名	国名	所属	資産額	備考
1	イーロン・マスク	アメリカ	テスラ共同創業者兼CEO・スペースXCEO	26兆9100億円	50歳
2	ジェフリー・プレストン・ベゾス	アメリカ	アマゾン共同創業者兼CEO兼取締役会長兼社長	21兆0120億円	58歳
3	ベルナール・アルノー&ファミリー	フランス	ルイ・ヴィトン(LVMH)CEO	19兆4150億円	73歳
4	ビル・ゲイツ	アメリカ	マイクロソフト共同創業者兼会長	15兆8510億円	66歳
5	ウォーレン・バフェット	アメリカ	バークシャー・ハサウェイ会長兼CEO(投資家)	14兆4990億円	91歳
6	ラリー・ページ	アメリカ	グーグル共同創業者兼元CEO	13兆6390億円	49歳
7	セルゲイ・ブリン	アメリカ	グーグル共同創業者	13兆1470億円	48歳
8	ラリー・エリソン	アメリカ	オラクル共同設立者	13兆0250億円	77歳
9	スティーブ・バルマー	アメリカ	マイクロソフト共同創業者	11兆2310億円	66歳
10	ムケシュ・アンバニ	インド	リライアンス・インダストリーズ会長	11兆1450億円	64歳

産業革命以来の資本主義体制および近年の新自由主義経済などによって、株式市場の高騰、規制緩和、独占支配、民営化、租税回避、労働者の権利と賃金の低下が起こり、豊かになったのに格差が広がって貧困が解消されていない。

■世界の貧困

世界の貧困による死亡者は、20000人/日を超えている。産業の国際化、競争の激化、利益の拡大追求といった流れの背景に、劣悪な労働条件や自然環境破壊や汚染などの状況も拡大している。絶対的貧困者も減少していないが、相対的貧困者は先進国においても多数みられるのが実情である。日本は、G7中でワースト2位。

問題に目を向ける-環境奉仕

■若い世代(前世代が残した負の遺産しか体験していない)は、すでに環境改善のために活動をはじめている

問題背景	問題カテゴリー	現象	対策
生産→消費→廃棄のプロセスの中で廃棄部分に全く無頓着だった 急激に環境悪化が顕在化してきた 一因は、資本主義経済の極度の強欲さの潜伏蓄積によっている	生態系破壊	森林破壊(伐採)・里山破壊・造成改造・食物連鎖・野生生物絶滅・外来種	化石燃料削減 炭素削減・脱炭素 省エネ・再エネ活用 エシカル 3R (Reduce・Re-use・Recycle) 4R (Refuse・Repair・Re-design・Re-think) END WASTE NOW
	地球温暖化	二酸化炭素ガス 海面上昇・高潮・氷河融解・砂漠拡大・異常気象(集中豪雨など)	
	大気汚染	排気ガス・光化学スモッグ・酸性雨・オゾン層破壊(フロンガス)・漏洩放射能・ウイルス	
	水質汚染	汚染物質流入・非融解ゴミ(プラスチック等)混入・原油流出・使用済核燃料廃棄処理	
	土壌汚染	産業廃棄物・残留性有害物質(農薬等)含侵	
	宇宙汚染	宇宙ゴミ(人工衛星の破片)	
	食品汚染	有害物質混入・遺物混入・健康侵害・ウイルス拡散	
	インフルエンス		
	人間に対する影響	生存環境破壊・身体障害・死亡	

環境汚染は元に戻せる可能性があるが、**環境破壊**は元に戻せる可能性が絶たれる
環境問題は、環境プロパーの問題ではなく人間生存に直接的に関わる問題である
環境対策はすべての人間の自己責任である

自身の職業が地域のニーズに応えるという次元を超えて、環境回復に結びついているか
ロータリーとして取り組める環境対策について考えてみる必要がある
環境対策は、これまでの奉仕概念を超越した奉仕テーマではないか 第6奉仕部門?
ローターアクトやインターアクトは環境に対する関心が高いので、連携することも必要...

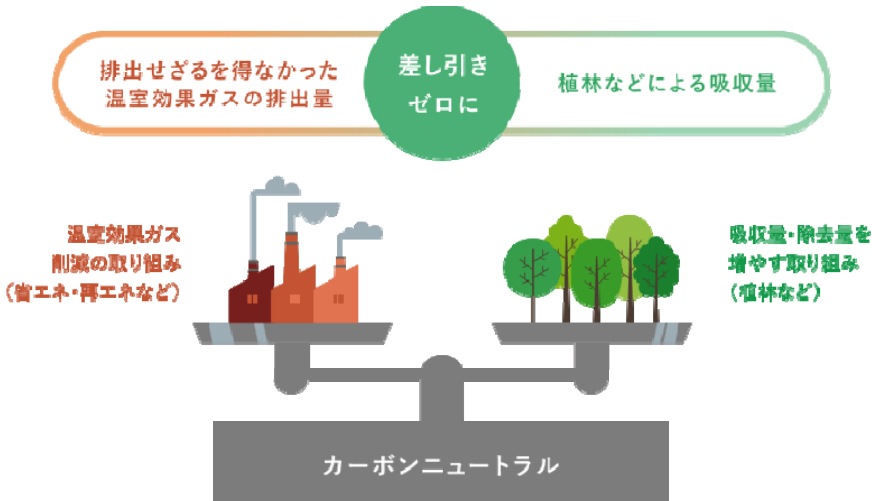


agnes-b HPより引用

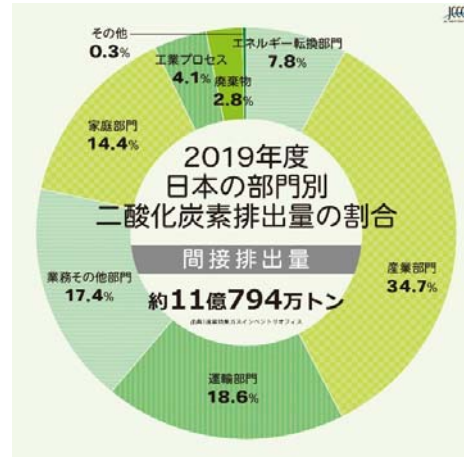


問題に目を向ける-カーボンニュートラル

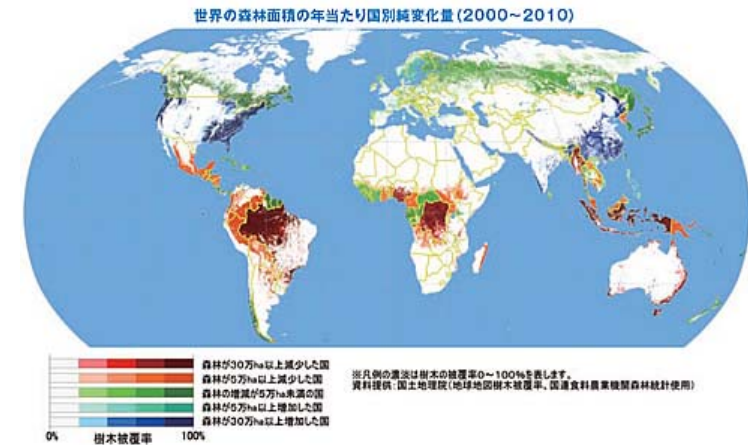
地球温暖化の原因は温室効果ガス=主に二酸化炭素



二酸化炭素はあらゆる分野から排出・・・絶対量の削減が強く求められる



CO2吸収源としての森林は乱開発などで伐採されている陸地面積の31%(約40億ha)が森林→520万ha/年が消失



COP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議 イギリス 2021年10月30日~11月13日)

- 「グラスゴー気候合意(Glasgow Climate Pact)」=気温上昇限度1.5°C目標を明記
- ・石炭火力発電・・・先進国は2030年に廃止、途上国は2040年に廃止 新設を行わない
 - ・電気自動車・・・主要市場で2035年、世界全体で2040年までに新車をEVetc化する
 - ・森林・・・減少傾向を2030年までに止め、回復に向かわせる
 - ・メタンガス・・・2030年までに2020年比で30%削減する=グローバル・メタン・プレッジ
 - ・今後は国家施策だけでなく、民間企業や自治体の役割が重視される

COP21(フランス 2015年11月30日~12月13日)

- 「パリ協定」
- ・世界の気温上昇を産業革命以前に比べ2°Cより低く保ち、1.5°Cに抑える努力をする
 - ・できるだけ早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量のバランスをとる
- 既に1.1°C以上上昇しているため、2030年までに2010年比でCO2を45%削減することが必要

主要国の脱炭素への取組政策

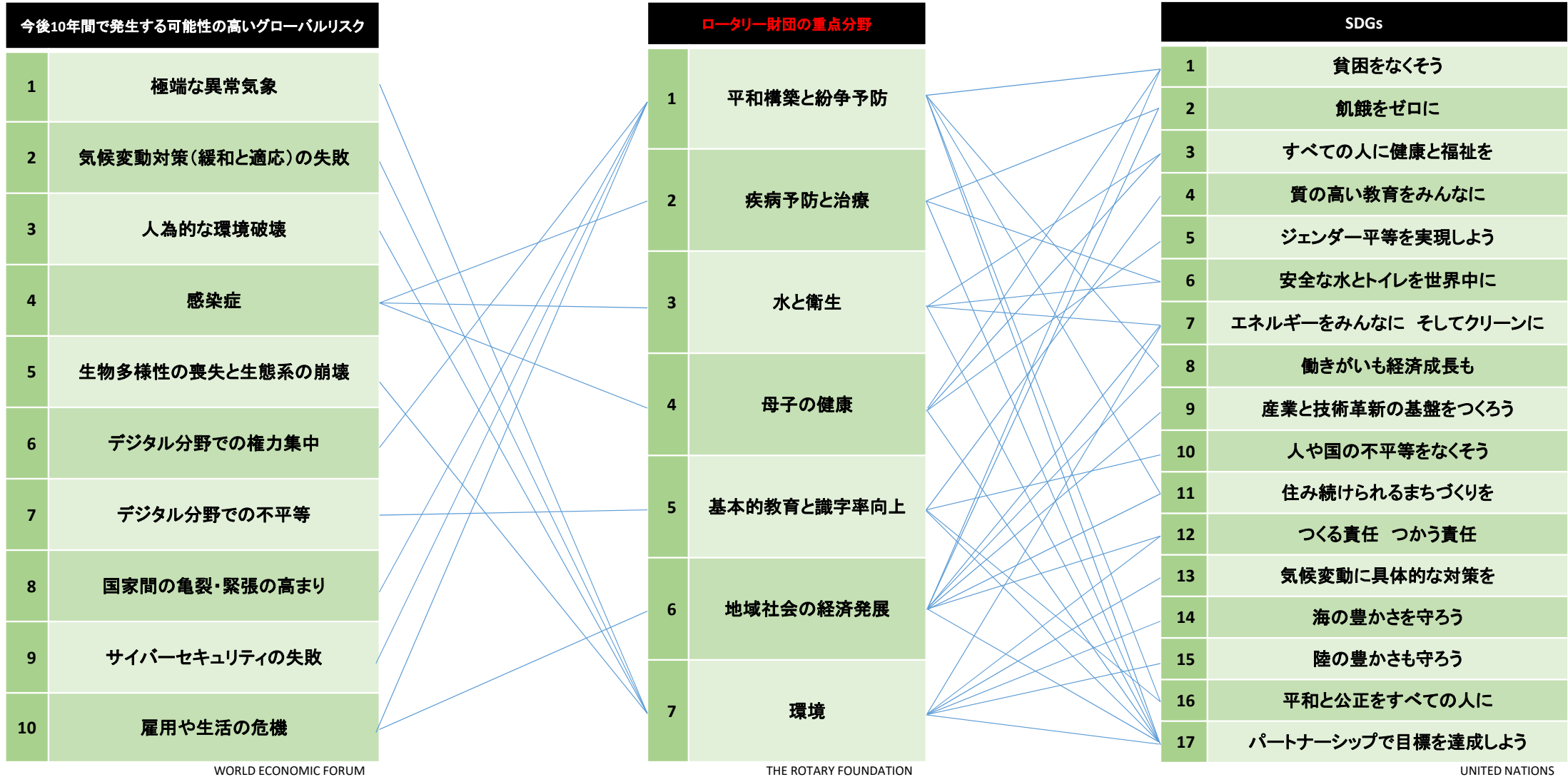
	日本	EU	英国	米国	中国
2020				2021年1月パリ協定復帰を決定	
2030	2013年度比で46%減、さらに50%の高みに向けて挑戦	1990年比で少なくとも55%減(NDC※)	1990年比で少なくとも68%減(NDC※)	2005年比で50~52%減(NDC※)	2030年までにCO2排出を減少に転換(両連減※)
2040					
2050	カーボンニュートラル(法定化)	カーボンニュートラル(長期戦略)	カーボンニュートラル(法定化)	カーボンニュートラル(大統領公約)	
2060					カーボンニュートラル(国連決議)

問題に目を向ける-地球存続へのキーワード

■ 持続可能な社会活動、今よりも希望に満ちた未来生活を築くためのパラダイム転換→奉仕活動テーマのヒント

SPACESHIP EARTH	CRITICAL ZONES	CRADLE TO CRADLE	3.5% RULES	SDGs
宇宙船地球号	クリティカルゾーン	ゆりかごからゆりかごへ	3.5%ルール	持続可能な開発目標
<p>建築家＋発明家バックミンスター・フラウ（アメリカ1895-1983）が提示した先駆的な世界観で、地球を有限なエネルギーしか積んでいない一隻の宇宙船としてとらえている。</p> <p>「宇宙船地球号操縦マニュアル」（1963）のなかで、私たちが同じ宇宙船の乗組員として、人類が宇宙船上でこれからも生き残っていくためには、宇宙船が積載しているエネルギーの有限性について乗組員全員が認識を共有して、地球の環境や資源を安易に消費し枯渇させてしまわないようにする意識と態度が重要だと提唱した</p>	<p>女性堆積学者ゲイル・アシリー（アメリカ1941-）が1990年代後半に提唱し、その後、科学人類学者ブリュノ・ラトゥール（フランス1947-）が広めた地動説以来の革新と言われる衝撃的な地球像。</p> <p>地球を、宇宙に浮かぶ惑星の一つとして宇宙飛行士のように彼方から眺めるのではなく、生命活動が行われている地表部分の厚さ数km弱のバイオフィルム（被膜）としてモデル化していこうとするもので、生態学にとどまらない人間の営為と母なる地球との濃密な関係を緊密な視点で把握することができるようになる</p>	<p>建築家ウィリアム・マクダナー（アメリカ1951-）と化学者マイケル・ブラウンガート（ドイツ）が1990年代に考案した循環型の設計思想。</p> <p>原材料→製品→原材料という考え方。</p> <p>人間のディープな欲望や資本主義の利益追求の下での大量生産・大量消費・大量廃棄の流れ（ゆりかごから墓場へ）に対して、廃棄物を量の問題として処理せず、自然界にゴミは存在しないという解釈から、モノのデザイン＋生産コンセプトによってゴミを資源化することが可能だと考えた</p>	<p>女性政治学者エリカ・チェノウェス（アメリカ1980-）が公表した社会運動に関する法則。</p> <p>1900年～2006年に起きた非暴力的なデモ及び暴力的なデモの統計的な調査を行い、「社会全体の3.5%の人たちがアクションを起こせば、それによって社会の仕組みを変えることができる」という事実をつかんだ。</p> <p>小さく見えるアクションであっても決して無力・無駄なものではなく、未来に影響を与える重大なパワーになっていく可能性を秘めていることを伝えている</p>	<p>国連サミット（2015）で193カ国が合意して採択され、2016-2030年までに、参加各国が団結的に目指す目標とされている。</p> <p>「このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求するものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する」</p>

グローバルリスク * ロータリー財団の重点分野 * SDGsの関係



WORLD ECONOMIC FORUM

THE ROTARY FOUNDATION

UNITED NATIONS

課題	状況
1 虚弱体質 (無気力・不勉強)	<p>ロータリアンとして成長しているか ロータリアンとして思考しているか ロータリアンとして行動しているか ロータリアンとして発言しているか ロータリアンとして満足しているか</p> <p>惰性的なロータリーライフ 役職を逃げ回る リーダー意識の欠如</p> <p>保守的な団体なのだから何も変える必要はない、という思考停止(新しさへの拒否反応) 職業奉仕 決議23-34 親睦中心で良い、という安直 奉仕は力まず程々にしておこう、というイージーゴーイング 笛吹けど踊らず 各クラブの実情は厳しいにもかかわらず、あえて実態に目を向けない(見なかったことにしておく) ビジョンレス 一年交代制であるがゆえに、将来に対する危機感に切迫が伴わない無責任 具体的な行動を起こすのに、数年を要する</p>
2 会員減少	<p>会員の増強に努力しても、退会者も多数いるため、会員維持さえ難しい かつては黙っていても何もしなくても、入会希望者が列をなしていた、という錆びついた栄光と懐古 最近景気が悪いから仕方がない、という諦観 ロータリークラブは選ばれた企業人の集団である、という自己満足的なプライド 女性の入会は認めない、というかたくなな固執</p>
3 会員高齢化	<p>一年経てば自然の摂理にしたがって一年齢を加えていくので、平均年齢はオートマチックに増加していく 老年年齢層比率が高くなってしまうと、弱年齢層が入会しにくい雰囲気は漂う 若年齢層の団体組織離れが進行しており、入会を期待される青年会議所やローターアクトも厳しい状況にある</p>
4 奉仕の停滞	<p>年単位の場当り(思い付き)又はマンネリな無気力奉仕 目的意識・目標意識の欠如 寄付ゼロクラブ・寄付ゼロ会員(ロータリーに入会してから1円も寄付をしたことがない会員)</p>

ロータリー 会員セミナー

MISSION: POSSIBLE

学べども なお学べども 学べども 学び足りぬは 学びなりけり : 新渡戸稲造



国際ロータリー第2地域ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則

